

森林の未来

～森林の未来を維持するために～

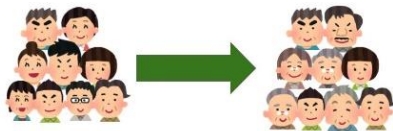
分野:木根館



植える
↓
育てる
↓
穫する
↓
適材適所で使う

現状の問題

森林業界の平均年齢が上がっている



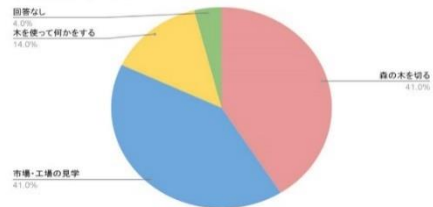
小学生に的を絞る!

自分たちが行ったこと①

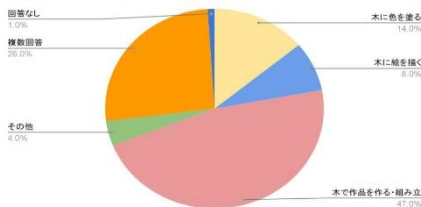
- ・小さい子が木に触れるとなったら何に興味を持つのか
- ・実際に興味を持つのかアンケートを取ってみよう!
- ・河内長野小学校の校長先生にアンケートの協力依頼の電話をする
- ・河内長野小学校の低学年(2・3年生)を対象にアンケート実施
- ・アンケート回収 & アンケートの集計

アンケートは
自分たちがから考え
作りました!!

木根館アンケート①



木根館アンケート②



自分たちの行ったこと②

- ① 出前授業を行うと思った。
- ② 河内長野市立川上小学校に協力依頼
- ③ アンケートの結果から、木根館さんの協力の元オーナーメントの準備。
- ④ 森林についてのスライドとクイズを出前授業のために作成。
- ⑤ 実際に「出前授業(3・4年生対象)」を実施。
- ⑥ 出前授業についてのアンケートを実施。
- ⑦ オーナーメント作成。

結果と考察

ポイント

小学生が木に触れるとなったら何に興味を持つのか、そして小学生の森林についての理解度を測り、木のサイクルの継承者であるということを伝えることができた。

・森のサイクル

・この2つを行ったことによって、今の小学生が大人になった時に、木の関係についての仕事につかかったとしても、自分たちは木のサイクルを創始している人だと誇れる自信を少しでももってもらえたかと考察する。

40年～50年

結論

出前授業を行った結果、授業の最初と授業の最後での森林についての理解度の変化が見られたため、木のサイクルの未来を維持していくためには、小学生の頃から森林について授業を行い、理解度を高めていく必要がある。

実際に、出前授業で森林についての話を聞いた小学生が、将来どのようにして木のサイクルに関わっていくのかを観察していく必要がある。

森のサイクルを守っている人は誰なのか



森林の授業で理解したこと (複数回答有)



参考文献

- ・近畿中国森林管理所「健全な森林づくり」
- ・林野庁「林業の動向」 2010年発行
- ・木根館ホームページ

協力機関

- ・木根館 → 総合授業で森林についてのお話と、質疑応答
- ・河内市立長野小学校 → 「木を使うなら何に興味があるか」のアンケート協力
- ・河内長野市立川上小学校 → 出前授業の実施 (森林クイズ・森林についての授業・アンケート回答・オーナーメント作り)

